

補助事業番号 : 21-19

補助事業名 : 平成21年度 機械工業における国際標準化推進等補助事業

補助事業者名 : 財団法人 日本規格協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国際標準化活動は、長い間欧州諸国の主導で行なわれてきた。また、近年は欧州諸国に加え、米国も国際標準化活動に積極的に参加するようになり、ISO (International Organization for Standardization: 国際標準化機構) 及び IEC (International Electrotechnical Commission: 国際電気標準会議) の専門委員会 (TC) や分科委員会 (SC) での審議に直接参加するばかりでなく、これらの幹事国業務を数多く引き受ける等、主導性を発揮している。

このような背景のもと、我が国も国際標準化機関が開発する国際規格に提案・意見を的確に反映させ、国際標準化の分野における優位性の確保に積極的に取り組むことが望まれている。このため、本事業においては、国際規格開発初期の段階から積極的に参加・貢献し、幹事国業務の引き受けを促進し、また、国家標準化事業と国際標準化事業との調和・一致を図ることを通して、我が国の機械工業の振興と貿易の円滑化に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容等

①国際標準化推進のための国際会議派遣事業

国際会議への参加者を優先度に応じて厳選し、海外へ派遣した。

②幹事国団体・国際規格原案作成促進事業

JIS 規格の国際規格への整合化を推進する観点からも、国際規格等の国内審議促進のため国内対策委員会及び ISO・IEC 等の幹事国引き受けを強力的に推進した。

ア. 委託事業

イ. 直轄事業

イ-(ア) ISO/TC 164 (金属の機械試験) 幹事国業務

イ-(イ) ISO/TC 201 (表面化学分析) 幹事国業務

③国際標準化活動支援体制整備事業

テクニカルエディターを配置し、ISO 及び IEC の審議文書 (Working Document) 及び会議決議等の邦訳を行った。

2. 予想される事業実施効果

標準を制する者が市場を制するとまで言われている昨今、我が国の機械工業を始めとする民間産業団体からの ISO/IEC 関連国際会議への参加及び幹事国業務の引き受

けを支援するための補助の実施等を通して、機械工業分野等における我が国の意見・戦略・技術を直接反映した国際規格の獲得等、我が国の国際標準化活動における地位向上に資することが可能となる。

3. 本事業により作成した印刷物等

印刷物名		部数
1) 幹事国団体・国際規格原案作成促進事業《委託事業》		
① 第58回 ISO/TC 61 ローマ年次会議報告書 (契約先：日本プラスチック工業連盟)	(和文)	300部
② 第16回 ISO/TC 206 年次会議報告書 ③ 第27回 ISO/TC 150 年次会議報告書 (契約先：(社)日本ファインセラミックス協会)	(和文)	125部 70部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人 日本規格協会（ニホンキカクキョウカイ）

住所：〒107-8440 東京都港区赤坂4-1-24

代表者：会長 佐々木 元（ササキ ハジメ）

担当部署：国際標準化支援部（コクサイヒョウジュンカシエンブ）

担当者名：国際課長 堤 紳介（ツツミ シンスケ）

電話番号：03-5770-1596 FAX：03-5770-1737

URL：<http://www.jsa.or.jp/>